マンションコンセプト

THE PRIME CONCEPT

都市の鼓動とリゾートの静謐が交わる丘に、美しき人生の幕が上がる。



私たちが目指したのは、単なる居住空間の提供ではありません。扉を開いた瞬間に満ちてくる「所有する歓び」と、幾十年という歳月を経ても色褪せない「普遍の価値」を創造すること。

本作『 **コンフォート ザ・プライム浦添港川** 』は、これまでのコンフォートシリーズに一歩も二歩も洗練を深めた、ワンランク上の住まいとして誕生しました。「ザ・プライム」という言葉が意味するのは、単なる「最高位」という格付けを超え、住まいの理想を突き詰めた「真髄」に触れること。そこには、従来の賃貸住宅とは一線を画し、オーナー様が「所有し、住まうことの歓び」を確かなものにするという、私たちの思いが刻まれています。

2026-07-17

目指したのは、表面的な華美やスケールの競争ではなく、沖縄の風土を愛し、この地に暮らす方々にとっての「エリア No.1」となる邸宅を創り上げること。この価格帯、このカテゴリーにおける最高（THE PRIME）の住み心地と価値を、理想の邸宅へと織りなしていく。その揺るぎない覚悟が、この名には宿っています。

LOCATION & FUTURE

都市とリゾートの「美しい均衡」。資産として輝き続ける未来の街



沖縄という島で住まいを選ぶとき、私たちは常にひとつの葛藤を抱えてきました。
那覇の都心に寄り添う利便性を求めれば喧騒が日常を侵食し、リゾートの癒しを求めれば都市の機能が遠ざかる。その相反する二つの憧れを、浦添市・港川エリアは見事なまでに調和させます。

舞台は浦添西海岸。沖縄のメインストリートである国道 58 号線から東にわずか 50 メートルほど。喧騒から一歩離れた、海抜 28 メートルの静かな高台です。ここは、沖縄本島を南北に縦断する国道 58 号線、330 号線、そして沖縄自動車道の西原インターチェンジという三つの幹線へ軽やかに結ばれる交通の要所。平日は那覇都心へスムーズにアクセスしやすい立地でありながら、足元には商業施設や医療機関が集積し、日々の暮らしを穏やかに支え続けます。さらに、休日に少し足を伸ばせば、宜野湾コンベンションエリアの穏やかな海岸やトロピカルビーチ、異国情緒あふれる北谷のアメリカンビレッジ、そしてパルコシティやライカムといった大型商業施設へも気軽に足を運べます。

ここは、都市の利便性を享受しながら、オフの時間をリゾートの心地よい空気とともに存分に楽しむことができる特等席です。また、ヴィンテージの香り漂う「港川ステイツサイドタウン（外人住宅街）」も徒歩圏内にあり、休日の朝にはお気に入りのカフェでくつろぐ、そんな映画のワンシーンのような穏やかな時間があなたの日常に溶け込みます。

さらに、この街は「未来」という確かな付加価値をも宿しています。浦添西海岸で計画が進むキャンプ・キンザー（牧港補給地区）の返還と、それに伴う大規模な跡地開発。変わりゆく街のダイナミズムを間近で見守りながら、家族の資産価値が静かに、しかし力強く高まっていく。その予感は、住まう人の充足感をも豊かに満たしてくれるはずです。

教育環境においても、そのポテンシャルは計り知れません。活気ある港川小学校・港川中学校区であることはもちろん、最大の強みは国道沿いのバス交通網の充実にあります。お子様が成長し全県区から志望高校を選ぶ際も、さらには琉球大学や沖縄国際大学へ進学する際にも、広域につながるバスルートが確保されているからです。お子様の無限の可能性を広げ、同時にご家族の日々の送迎負担をも軽減する、それは、教育という名の未来への投資に他なりません。



2026-07-17

PUBLIC SPACE

「第 2 のリビング」が迎える、誇り高きエントランス。

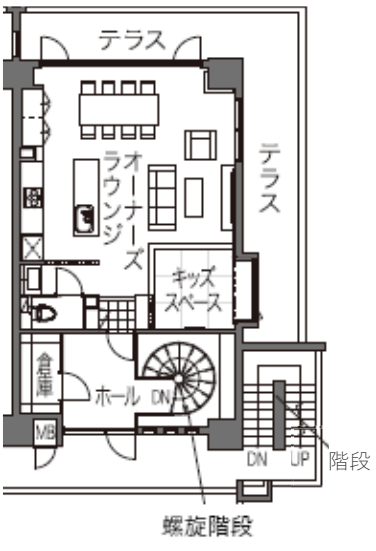
邸宅の真の価値は、プライベートな空間の外側にこそ静かに表れます。私たちが目指したのは、単なる共用施設の提供ではなく、オーナー様のためだけに設えられた特別な空間、『オーナーズラウンジ』の創造でした。

本来であれば、全 70 邸のプロジェクトとして成立させることができた広大な敷地。しかし私たちは、あえて効率よりも「住み心地の余白」を選びました。総戸数を 69 邸に絞り込み、そこから生まれた 55 ㎡という確かなゆとりを、大切なゲストと語らうひとときのために貸し切れるオーナーズラウンジへと昇華させたのです。そこには 70 インチ超の大画面テレビに、最大 10 名が座れる大きなダイニングテーブル。アイランド型の作業カウンターを備えた豪華なキッチンも完備。お子様の誕生日会や親戚が集うお祝い、あるいは運動会の打ち上げなど、賑わいの場をプライベート空間から離れた、この贅沢な舞台へと移す。大切なゲストを「もうひとつの我が家、セカンドリビング」へ招くことができます。また、小上がりの和空間や、柔らかな光を取り込む出窓のヌック（読書空間）では、子どもから大人まで、多様な世代が思い思いのひとときを心ゆくまで愉しめます。



コンフォートザ・プライム浦添港川

オーナーズラウンジ平面図



このラウンジへと至る動線もまた、ドラマチックに設計されています。エントランスの風除室を抜けると、エレベーターホール前に美しい螺旋階段が姿を現します。

2026-07-17

そこを上ってラウンジへと直接アクセスするホテルライクなアプローチは、大切なお客様をお迎えした際、「素晴らしい邸宅に住んでいる」という確かな誇りを感じさせてくれるはずです。



日常の美意識を支える機能性にも一切の妥協はありません。エントランス前には雨の日でもご家族が濡れずに乗り降りできる車寄せ。さらに、5.8m もある宅配業者兼来客用の駐車スペースには、これからの時代を見据えた 6kW の EV（電気自動車）急速充電器を備えており、県外からのゲストがレンタカーで訪れたとしても、安心しておもてなしができます。また、天候に左右されず 24 時間利用できるエントランス横のゴミステーションや、ビックスクーター専用の駐輪区画。そして、この規模のマンションとしては稀なエレベーター2 基を設置しました。こうした日々の「小さなストレス」を丁寧に取り除いた配慮の積み重ねが、洗練された暮らしを根底から支える——それこそが、私たちの考える真の「ラグジュアリー」です。

2026-07-17

PRIVATE RESIDENCE & DESIGN

普遍の建築美と、計算し尽くされた居住性。

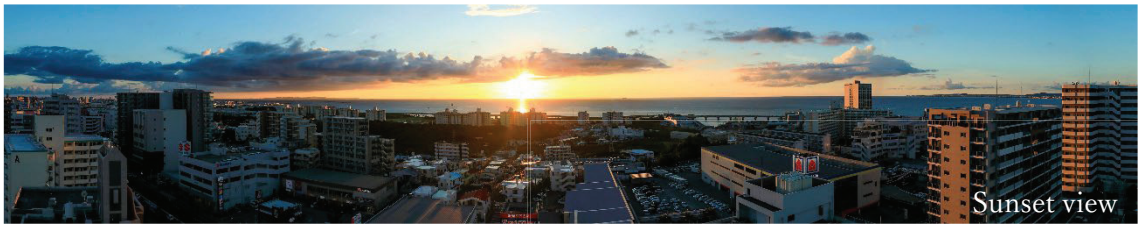


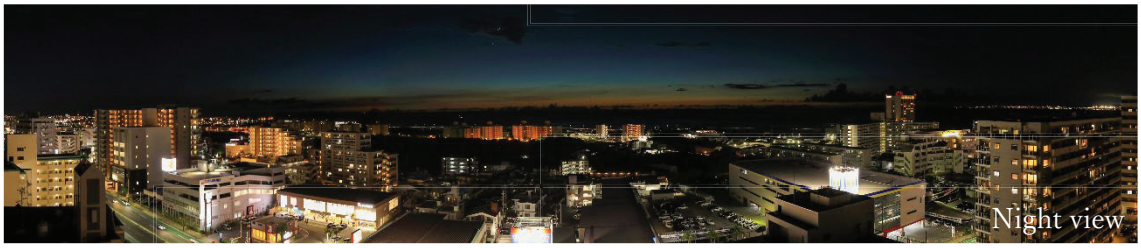
建物の外装やインテリアにおいて私たちが追求したのは、一過性の流行に左右されない「普遍の上質」と「知的な気品」です。コンクリート、ガラス、アルミといった素材の本質的な質感を巧みに組み合わせ、アースカラーで纏めたデザインは、幾十年という歳月を重ねるほどに街の風景へと溶け込み、美しく愛され続ける都市型レジデンスとしての気品を深めていきます。

専有部のプランニングにおいても、長年の知見を結集し「住みやすさ」を極限まで追求しています。空間効率を高めながらも、「豊富な収納」と「対面キッチン」という譲れないテーマを見事に両立。標準的な 3LDK プラン(64 ㎡ D-type)であっても、主寝室と子供部屋の双方にウォークインクローゼットを設け、全戸に家族の会話が弾む対面キッチンを採用しました。また、幅 1 メートルの大型洗面台やガス衣類乾燥機、さらには頑固な汚れもやさしく落とす洗濯用温水混合水栓。天井高 2.15 メートルという圧倒的なゆとりを持つユニットバスなど、水回りの設備もひとつ上の仕様を揃えています。リビングを見渡しながら家事ができる安心感と、家族の会話が弾む日常。
さらに、寝室や廊下など「適所」に分散配置された豊富な収納が、生活感を感じさせない洗練された空間を自然に保ちます。

2026-07-17

また、国道 58 号線から奥まった高台という立地特性を活かし、階層によって異なる魅力を持たせました。9 階以上の高層階には透明ガラスの手すりを採用。視界を遮ることなく、東シナ海を茜色に染めて沈むサンセットや、慶良間諸島の島影を静かに見晴らすことができます。一方、オーシャンビューにこだわらない 2 階から 4 階の低層階には、奥行き 2.4 メートルという開放的なバルコニーをご用意しました。お気に入りの椅子を出し、心地よい風に吹かれながら午後のティータイムを楽しむ、もうひとつの「アウトドアリビング」としての豊かな提案です。





※コンフォートザ・プライム浦添港川 11 階相当から夕景・夜景を撮影（2025.6.27）

CRAFTSMANSHIP & NEW STANDARD

造り手の矜持と、次世代の管理体制。

私たち東豊は、建設会社[※1]を親会社に持つ地元沖縄の『ものづくり企業』です。設計から建設、そして販売までを一貫して見つめ、数多くのマンション建設から得た確かな知見を礎にしながら、お客様の生の声に真摯に耳を傾け続けてきました。昨今の建築費高騰という荒波の中でも、建設会社由来の精緻なコストコントロールにより、決して品質を落とすことなく最高のプロダクトを適正な価格でお届けする。それが地元企業としての揺るぎない矜持です。

そして、手に入れた上質な暮らしを「いかに守り、育んでいくか」という点においても、私たちは新たな試みを始めます。

それが、県内でも先進的な「第三者管理方式」の導入です。管理組合の理事会業務といった煩わしい実務をすべてプロの管理会社に委ねることで、休日の貴重な時間を削ることなく、優秀な秘書に一切を任せるかのように、ただ純粋に日々の暮らしを謳歌していただけます。

2026-07-17

ものづくりへの責任と、入居後の徹底した快適性の追求。その両輪が、この邸宅の価値を末永く、そして確かに支え続けます。

VISION FOR YOUR LIFE

あらゆる世代の人生を、最も美しく彩るために。

昨今、インフレや建築費の高騰が続く中で、マイホームの取得に慎重になる方も少なくありません。しかしだからこそ、若いうちから賃貸ではなく「揺るぎない自らの財産」を築くことの重要性に気づき、行動を起こす若い世代が急増しています。50 年住宅ローンという新たな選択肢も登場し、より賢明なライフプランを描くことが可能な時代です。

私たちは、これから家族の歴史を刻む若い皆様へ、華美な装飾を排した「質実剛健な豊かさ」をご提案いたします。私たちが導き出した 64 ㎡の 3LDK の標準プラン(D-type)は、対面キッチンやふたつのウォークインクローゼットを完備し、家具がシンデレラフィットする完成度の高いプランです。過度な経済的負担を背負うことなく、最高に機能的で美しい暮らしを手に入れる。それが、皆様の未来を拓く「最適な選択」だと確信しています。

こうした「無駄を削ぎ落した豊かさ」は、関東圏など県外からの移住を検討される方や、那覇・浦添・宜野湾といった近隣に長年お住まいの方にとっても、これ以上ない選択肢となりえます。特に、現在、築 30 年以上の中古マンションにお住まいで、「このまま古くなっていく建物とともに、自分たちも歳を重ねていくのだろうか･･･。」という漠然とした不安を抱えていらっしゃる皆様へ。住み替えという選択が、その重荷を静にほどく鍵となるかもしれません。建物の老朽化やメンテナンスの煩わしさ、広すぎる部屋の掃除から解放され、シニア層や DINKs の方にも最適な「2LDK プラン」へのダウンサイジング（住み替え）を選ぶことで、人生は驚くほど身軽で豊かなものへと変わるでしょう。

東シナ海を茜色に染め上げながら、ゆっくりと沈んでいく夕日。その柔らかな光に浮かび上がる、慶良間諸島の美しいシルエット。浦添西海岸という地は、都市の躍動感とリゾートの安らぎが最も純度の高い状態で溶け合う、理想の場所です。心地よい海風を感じながら、浦添西海岸に生まれる「新しい街の胎動」に胸を躍らせ、利便性という日常の安心に包まれながら、窓の向こうには常に雄大な自然のパノラマが広がっています。

2026-07-17

『 コンフォート ザ・プライム浦添港川 』 夕日に包まれる浦添西海岸の高台で、あなたの人生の、最も美しく最も豊かな時間が、静かに幕を開けます。



※コンフォートザ・プライム浦添港川 11 階相当から夕景を撮影（2025.6.27）

※1 東江建設 ： 県内外のマンションデベロッパーやホテルなどの建築を多く手掛ける。グループ会社には県内最大のタクシー会社である沖東交通や、建物解体や商社、保険業務を担うトウエイがある。

2026-07-17